

第3回教育研究評議会議事要録

日 時 平成16年4月19日(月)14時03分開会～16時37分閉会

場 所 本部5階大会議室

欠席者 高安副学長, 久保評議員

陪席者 今岡監事

議事に先立ち,議長から第1回及び第2回の教育研究評議会議事要録の確認については,本日分とあわせて次回の教育研究評議会で確認する旨が述べられた。

議 題1 . 平成16年度年度計画(案)について

議長から,第2回の教育研究評議会において審議・承認された中期目標原案及び中期計画案に基づく,平成16年度の年度計画案について審議願うものである旨が述べられた。

また,保母副学長から,本案は各副学長が原案を作成し,とりまとめたものであり,4月14日開催の経営協議会において基本的に承認されており,今後は文部科学省からの中期計画の認可後,正式に提出することとなるが,文部科学省との対応で多少の修正があることを了承願いたいこと,その場合その取扱いについては,役員会に一任願いたい旨が述べられた。

続いて,保母副学長及び財務部長から年度計画案について説明があった後,審議の結果,提案のとおり承認された。

議 題2 . 島根大学名誉教授の称号授与について

議長から,本年3月31日限りで定年退職した元教官11名の,島根大学名誉教授称号授与規則第2条第1号の規定による名誉教授称号授与について審議し,本評議会において即決により承認願いたい旨が述べられた。

続いて,各学部長から推薦理由について説明があった後,審議の結果,原案のとおり異議なく承認された。

議 題3 . 教員の採用等に係る選考について

議長から,このたび医学部から提出された4件の人事については,法人化後の教員の採用及び昇任のための選考が,教育公務員特例法による取扱いによらず,教授会の発議に基づき教育研究評議会の審議を経て,学長が行うこととなったことにより提案するものであり,教育研究評議会では教育・研究等の業績評価に関わる審議は行わないこととされているが,その他の具体的な手続等が定まっていないため,本日は,医学部長から説明を受け審議したい旨が述べられた。

続いて、医学部長から4件について説明があった後、審議の結果、提案のとおり異議なく承認された。

本議題に関連し、議長から、今後、教育研究評議会における教員の採用等に係る選考に当たっては、新たな人事案件が発議される段階で全学的な了解がないと本評議会での審議が実質上行えないことになることから、少なくとも公募前の段階で、どのような考え方で昇任や採用を行うのか役員会レベルの全学的機関で審議する場を設ける必要があると考えられるので、「島根大学教員選考基準」及び「島根大学教員人事の指針」を踏まえて、選考に関する手続き方法について至急検討を行い、教育研究評議会に提案することとするが、それまでの間は本日のような手続方法で取り扱うこととしたい旨が述べられ、審議の結果、異議なく承認された。

議題4．全学諸規則(案)について

議長から、学内規則のうち管理学則等の規則については、4月1日開催の教育研究評議会において承認されており、本日は残る全学諸規則について審議願うものであるが、提案する規則案のうち、学内共同教育研究施設に係る規則案については、3月15日開催の評議会、将来計画委員会及び法人化準備委員会合同会議において承認された基本的事項に基づいて規則化したものであり、それ以外の規則案については、法人化前の島根大学において、関係委員会等で検討・整理されたもの及び法人移行に伴う整理によるものであり、規則案については関係委員会等で実質的な審議が終了していることから本教育研究評議会においては、即決により審議・承認願いたい旨が述べられた。

続いて、提案の規則案のうち3件について総務部長から説明を行ったところ、島根大学受託研究取扱規則の一部について修正願いたい旨の発言があり、修正後の島根大学受託研究取扱規則案を含めた全ての規則案について審議の結果、提案のとおり異議なく承認された。

議題5．全学抛出ポストの取扱いについて

議長から、統合前の島根大学における評議会の確認事項である全学から抛出され学長預かりとなるポストの取扱いについては、当該ポストのうち3つを法科大学院の整備充実に充て、1つを教育学部の再編整備に充てることとし、可能な限り早い時期に返却することとしていたが、今年度の運営費交付金における人件費の積算上、法科大学院分として、概ね3名相当分の人件費が増額措置されていることから、法科大学院設置に伴う全学抛出ポスト3名分については、既に返却されているものと考えて整理することを了承願いたい旨が述べられ、審議の結果、提案のとおり承認された。

また、関連して、教育学部については、現時点でも評議会確認事項に変更はないと考えるので引き続き返却について努力願いたいこと、並びに埋蔵文化財調査研究センター教員ポストの恒常化については、旧島根大学の4学部でのローテーションが2順目を完

了していないこともあって、今年度は総合理工学部で人件費を負担願うこと、将来的は、法文学部の負担や、全学ポストの充当により恒常化する方向で総合的に判断して取扱うこととしたい旨が述べられた。

報告事項 1 . 平成 1 6 年度入学者数について

坂本副学長から、平成 1 6 年度入学者数について報告があった。

関連して、医学部長から、大学院医学系研究科修士課程については、第 2 次募集を行うことになったので、受験者の確保について協力願いたい旨が述べられた。

報告事項 2 . 腫瘍科の設置について

加藤医学部附属病院長から、腫瘍科の設置について報告があった。

報告事項 3 . コラボ産学官プラザ in TOKYO への参加について

保母副学長から、コラボ産学官プラザ in TOKYO へ本学の拠点を開設した旨の報告があった。